

ウイルス学会関連研究集会紹介

5. 第31回中国四国ウイルス研究会

山口 剛士

鳥取大学農学部 共同獣医学科 獣医衛生学教育研究分野

日時：7月9日午後1時30分～7月10日午後0時30分

場所：鳥取大学農学部 大講義室

第31回を迎える中国四国ウイルス研究会が今年は鳥取大学で開催された。本会は中国四国地区のウイルス学会会員が年に一回集まり、植物、昆虫、動物、人など幅広い宿主にまたがる多様なウイルスに関する研究発表を行い、議論し親睦を深めている。今年は開催2日間で特別講演2題、一般演題24題、3日間で70名の参加があり、参加研究室は20に上った。交通の便があまり良くない鳥取での開催で参加人数に不安があったが、盛会だった昨年を上回る多くの方々のご出席をいただくことができた。

特別講演は、京都大学ウイルス研究所 ウイルス微細構造研究領域の野田岳志先生から「転写中のインフルエンザウイルス RNP の微細構造解析」、京都府立医科大学 大学院医学研究科 感染病態学教室の中屋隆明先生から「次世代シーケンサーを用いたウイルス学研究的発展」についてご講演を賜った。いずれのご講演も最新の知見を分かりやすく丁寧にご紹介いただき、質疑応答も活発に行われた。

研究会初日終了後には恒例の情報交換会を催し、こちらにも多数の会員の皆様にご出席いただき、山陰の海の幸を味わいながら年に一度の楽しいひとときを過ごすことができた。情報交換会では、毎年恒例となっている研究室ごとの自己紹介が今年も行われ、教員、学生、技官の方々も含め出席者全員から近況をご紹介いただき、互いの交流を深めることができた。

本研究会では、毎年学生会員が発表者となる一般演題から優秀発表賞を選出しており、今年も研究会にご出席の幹

事の先生方の厳正な審査により、Annisa Aulia 氏（岡山大学資源植物科学研究所）、松原稔樹氏（広島大学大学院歯薬保健学研究院ウイルス学研究室）および長田奈緒氏（山口大学獣医微生物学教室）の3名が選出され、研究会最終日に優秀発表賞が授与された。

来年は、川崎医科大学の齊藤峰輝 教授を世話役に第32回目の研究会が倉敷で開催されることとなった。中国四国地方のウイルス学会会員の方で、まだ本会にご出席されたことの無い方がいらっしゃいましたら、是非一度ご参加を。植物学、昆虫学、医学、獣医学など背景の異なる多様な研究者がウイルスを軸に一堂に会し、アットホームな雰囲気の中で議論することで、ウイルス学という幅広い学問分野を楽しむことができます。参加人数も多すぎず、気軽に情報交換が行えるところもお勧めです。多くの方々に参加していただき益々の盛会となることを願っています。

演題プログラム

第1日 7月9日(土)

セッション1 座長：加藤 宣之（岡山大学）

1. マダニにおけるウイルス保有状況の調査

○下田 宙¹、水野純子¹、米満研三¹、長田奈緒¹、南昌平¹、欽田龍星¹、高野 愛¹、鈴木和男²、前田 健¹

¹ 山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室

² 田辺市ふるさと自然公園センター

2. 重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染状況の調査 2015

◎長田奈緒¹、濱崎千菜美¹、水野純子¹、米満研三¹、南昌平¹、欽田龍星¹、下田 宙¹、高野 愛¹、鈴木和男²、森川 茂³、前田 健¹

¹ 山口大学・獣医微生物学教室

² 田辺市ふるさと自然公園センター

³ 国立感染症研究所獣医科学部

3. 日本脳炎ウイルス媒介蚊の海外からの侵入の可能性

◎杉山弘樹、欽田龍星、米満研三、南 昌平、下田 宙、前田 健

連絡先

〒680-8553

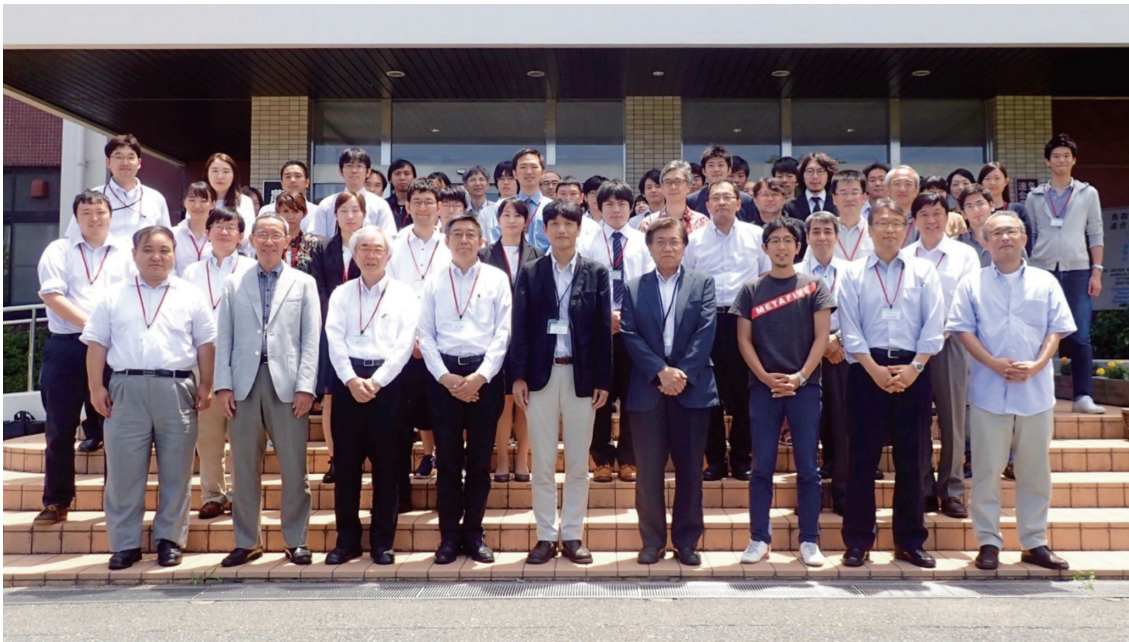
鳥取県鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部 共同獣医学科 獣医衛生学教育研究分野

TEL: 0857-31-5487

FAX: 0857-31-5487

E-mail: yamaguti@muses.tottori-u.ac.jp



山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室

4. 哺乳動物及び吸血節足動物におけるラブドウイルスの調査

○ 鎌田龍星¹, 原 七海¹, 長田奈緒¹, 杉山弘樹¹, 南昌平¹, 米満研三¹, Dung van Nguyen¹, 下田 宙¹, Agungpriyono Srihadi², 水谷哲也³, 本道栄一⁴, 前田 健¹

¹ 山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室

² Bogor Agricultural University IPB

³ 東京農工大学国際家畜感染症防疫研究教育センター

⁴ 名古屋大学大学院生命農学研究科

5. 野生動物での調査により判明したE型肝炎感染のリスク

○ 米満研三¹, 鎌田龍星¹, 高野 愛¹, 下田 宙¹, 鈴木和男², 前田 健¹

¹ 山口大学共同獣医学部

² ふるさと自然公園センター

セッション2 座長：山田 雅夫 (岡山大学)

6. ヒト不死化肝細胞を用いたナチュラルキラー細胞によるC型肝炎ウイルス認識機構の解析

○ 團迫浩方, 平本洗貴, 上田優輝, 佐藤伸哉, 加藤宣之
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学分野

7. N-89 或は N-251 に耐性を示す HCV-RNA 複製細胞から得られた HCV 遺伝子の性状解析

○ 上田優輝¹, 團迫浩方¹, 佐藤伸哉¹, 池田正徳², 加藤宣之¹

¹ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学分野

² 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター 分子ウイルス感染研究分野

8. 抗 HCV 薬候補として開発中の N-89 と N-251 に対する抵抗性の獲得には宿主とウイルス側両方が関与する

○ 谷 焯琳, 上田優輝, 團迫浩方, 佐藤伸哉, 加藤宣之
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学分野

9. 核酸アナログ型抗 HCV 薬による AMPK 活性への影響

○ 小野村大地, 佐藤伸哉, 上田優輝, 團迫浩方, 加藤宣之
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学分野

10. B型肝炎ウイルスに対する感染受容性を有するヒト肝がん Li23 細胞のサブクローニングとその有用性

○ 平本洗貴¹, 團迫浩方¹, 上田優輝¹, 佐藤伸哉¹, 下野邦忠², 加藤宣之¹

¹ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学分野

² 独立行政法人 国立国際医療研究センター 肝炎免疫センター

11. Core-VLP を用いた B型肝炎ウイルス出芽機構の解析

○ 松原稔樹, 小田康祐, 入江崇, 福士雅也, 坂口剛正
広島大学大学院医歯薬保健学研究科ウイルス学

特別講演 1 座長：藤井 豊 (香川大学)

「転写中のインフルエンザウイルス RNP の微細構造解析」
京都大学ウイルス研究所 ウイルス微細構造研究領域 野田岳志

特別講演 2 座長：鈴木 信弘（岡山大学）

「次世代シーケンサーを用いたウイルス学研究の発展」
 京都府立医科大学大学院医学研究科感染症病態学教室 中屋
 隆明

第2日 7月10日(日)**セッション3** 座長：前田 健（山口大学）

12. A mutualistic interaction between two novel viruses
 in a phytopathogenic fungus, *Rosellinia necatrix*.

Zhang, R.¹, Hisano, S.¹, Tani, A.¹, Kondo, H.¹, Kanematsu,
 S.², Suzuki, N.¹

¹ IPSR, Okayama Univ

² IFTS, NARO

13. Different behaviors of mycoreovirus 1 and 2 in the
 fungal host, *Cryphonectria parasitica*.

© Annisa Aulia¹, Bradley I. Hillman², 鈴木 信弘¹

¹ 岡山大学資源植物科学研究所

² Rutgers University

14. ヤマユガ科野蚕を宿主とする核多角体病ウイルスの
 比較ゲノム解析

©佐々木邦¹, 梶浦善太², 小林淳^{1,3}

¹ 鳥取大学大学院連合農学研究所

² 信州大学繊維学部

³ 山口大学大学院創成科学研究科（農学系）

15. EBV 感染は胃上皮細胞においてミトコンドリア DNA
 に変異を誘導する

© Timmy Richardo, 金廣優一, Hyoji Kim, 飯笹 久,
 吉山裕規

鳥根大学医学部微生物学講座

16. Transcriptional regulatory elements in the promoter
 of Epstein-Barr virus derived BART microRNAs

© Hyoji Kim, 飯笹 久, Timmy Richardo, 金廣優一,
 吉山裕規

鳥根大学医学部微生物学講座

セッション4 座長：坂口 剛正（広島大学）

17. ヘムアグルチニン（HA）の糖鎖付加・欠失をともな
 う変異が香港型インフルエンザウイルス（A/H3N2）
 の流行に及ぼす影響の検証

○後川 潤¹, 内藤忠相¹, 徳永博俊², 齊藤峰輝¹

¹ 川崎医科大学微生物学教室

² 川崎医科大学血液内科学教室

18. インフルエンザウイルス増殖能と細胞傷害性の関係

○常城朱乃¹, 景山誠二¹, 鳥取県感染症懇話会関係者

¹ 鳥取大学医学部ウイルス学分野

19. Pantetheine- Vanin-1- Cysteamine 系は, A549 細胞で
 インフルエンザウイルス増殖を抑制する

○山下信子^{1,2}, 難波ひかる¹, 小川寛人¹, 山田雅夫¹, 森
 島恒雄^{2,3}

¹ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病原ウイルス学

² 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学

³ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科岡山労災病院

20. 豚インフルエンザウイルス国内分離株の性状解析

○伊藤啓史¹, 利根壮一郎¹, 竹前喜洋², 西藤岳彦², 伊
 藤壽啓¹

¹ 鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究セン
 ター

² 農研機構・動物衛生研究部門

セッション5 座長：景山 誠二（鳥取大学）

21. 動物におけるインフルエンザウイルス感染のスクリー
 ニング

原 七海¹, 長田奈緒¹, 米満研三¹, 南 昌平¹, 鋤田龍
 星¹, 下田 宙¹, 堀本泰介², 前田健¹

¹ 山口大学共同獣医学部

² 東京大学大学院農学生命科学研究科

22. 高病原性鳥インフルエンザ国内発生においてチョウセ
 ンイタチ (*Mustela sibirica*) は家禽への感染源になり
 える

○笛吹達史, 富岡幸子, 曾田公輔, 伊藤啓史, 伊藤壽啓,
 山口剛士

鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究セン
 ター

23. C 型インフルエンザウイルスの運動機構

○堺立也¹, 村木靖², 齊藤峰輝¹

¹ 川崎医科大学微生物学教室

² 岩手医科大学微生物学講座

24. センダイウイルスアクセサリー蛋白質機能の選択的操作

川端涼子, 小田康祐, 坂口剛正, 入江崇

広島大学大学院医歯薬保健学研究院ウイルス学研究室

